

平成 27 年度「経済の好循環と日本経済再生に向けた国際共同研究」
(マクロ経済政策分野) 報告会の概要
(平成 28 年 3 月開催)

開 会

主催者挨拶：梅溪 健児 内閣府経済社会総合研究所長

主査 挨拶：福田 慎一 東京大学教授

セッション 1 「日本企業の設備投資はなぜ低迷したままなのか—長期停滞論の観点からの再検討—」

発 表 者：中村 純一 日本政策投資銀行設備投資研究所副所長

討 論 者：細野 薫 学習院大学教授

セッション 2 「国際資金余剰・世界金利・長期停滞」

発 表 者：松林 洋一 神戸大学教授

討 論 者：小川 栄治 一橋大学教授

セッション 3 「Uninsured Risk, Stagnation and Fiscal Policy」

発 表 者：R. A. Braun アトランタ連邦準備銀行上級政策顧問

中嶋 智之 京都大学教授

討 論 者：楡井 誠 財務総合政策研究所総括主任研究官

セッション 4 「技術革新と長期停滞」

発 表 者：二神 孝一 大阪大学教授

小西 邦彦 大阪大学特別研究員

討 論 者：焼田 党 名古屋市立大学教授

セッション 5 「Implications of low yields on Japanese government bonds on macroeconomics」

発 表 者：櫻川 昌哉 慶應義塾大学教授

櫻川 幸恵 跡見学園女子大学准教授

討 論 者：北川 章臣 東北大学教授

セッション 6 「Effects of the Great Recession on the Banking Sector」

発 表 者：S. W. Joh ソウル国立大学教授

討 論 者：清水 克俊 名古屋大学教授

セッション 7 「Japanese Monetary Policies and Global Spillovers : Analysis Using the GVAR Model」

発 表 者：R. Dekle 南カリフォルニア大学教授

討 論 者：小枝 淳子 早稲田大学准教授

セッション 8 「日本の期待インフレ率の変遷」

発 表 者：沖本 竜義 オーストラリア国立大学准教授

討 論 者：開発 壮平 日本銀行企画役

セッション 9 「量的・質的金融緩和により銀行行動は変化したか？」

発 表 者：本多 佑三 関西大学教授 札幌

井上 仁 学院大学准教授 大阪

立花 実 府立大学准教授

討 論 者：渡部 和孝 慶應義塾大学教授

講 評 福田 慎一 東京大学教授

※ここに記載している発表者らの肩書きは、報告会開催当時のものである。

経済社会総合研究所の概要

経済社会総合研究所（Economic and Social Research Institute：以下 ESRI という）は、中央省庁再編の一環として従来の経済企画庁経済研究所の機能、規模を拡充して 2001 年 1 月に発足した内閣府の機関です。内閣府は重要課題を担当する「知恵の場」ですが、ESRI は内閣府のシンクタンクとして理論と政策の橋渡しを担う、言わば「知恵の場」の中の「知恵の場」といえます。

ESRI の主要な任務として、経済活動、経済政策、社会活動等に関わる理論及び実証研究を行い、政策研究機関としての機能強化を図るとともに、内部部局と連携し、経済財政諮問会議の審議に資する研究の実施と政策研究を担う人材育成・研修等に取り組んでいます。また同時に、GDP（国内総生産）統計に代表される一国経済の循環を記録する国民経済計算体系（SNA：System of National Accounts）の推計作業を行い、四半期毎の GDP 速報（QE：Quarterly Estimates）、年度毎の確報を公表、さらには、CI（景気動向指数）等の景気動向統計の作成を行い、公表しています。